

地域との連携・協働 は

誰を幸せにするのか

～茅野市の実践を踏まえて～

長野大学 早坂 淳

hayasaka@nagano.ac.jp

早坂 淳：教育学者

ばらばら

だけど

ひとつに

多様性 × 協働

新しい、価値

わくわく

永明小

相手に生きる私

金沢小

子どもを「お客様」にしない

つむぎ合い

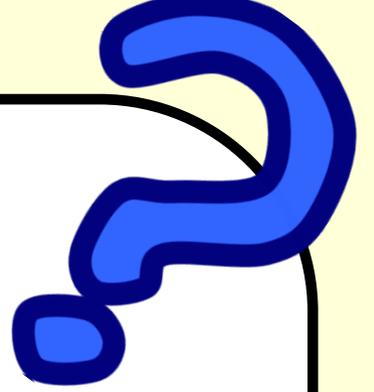
湖東小

地域への意識

東部中

地域づくりへの参画

Q1



地域と学校の連携・協働
の意義って何だろう？

正直，負担じゃない??

今日のKeyWord

- ① 探究と協働
- ② ウェルビーイング
- ③ 自己決定理論

KW①

社会の現在
探究・協働

第四次産業革命



第一次

18-19C

水力・蒸氣

織物業・鉄鋼業



第二次

19-20C

電氣

重化学工業

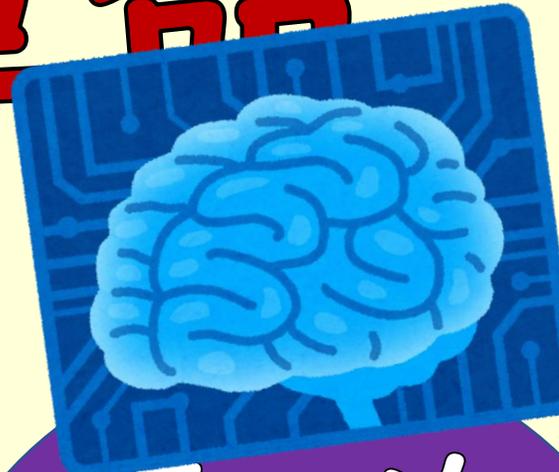


第三次

1980~

ICT

情報産業

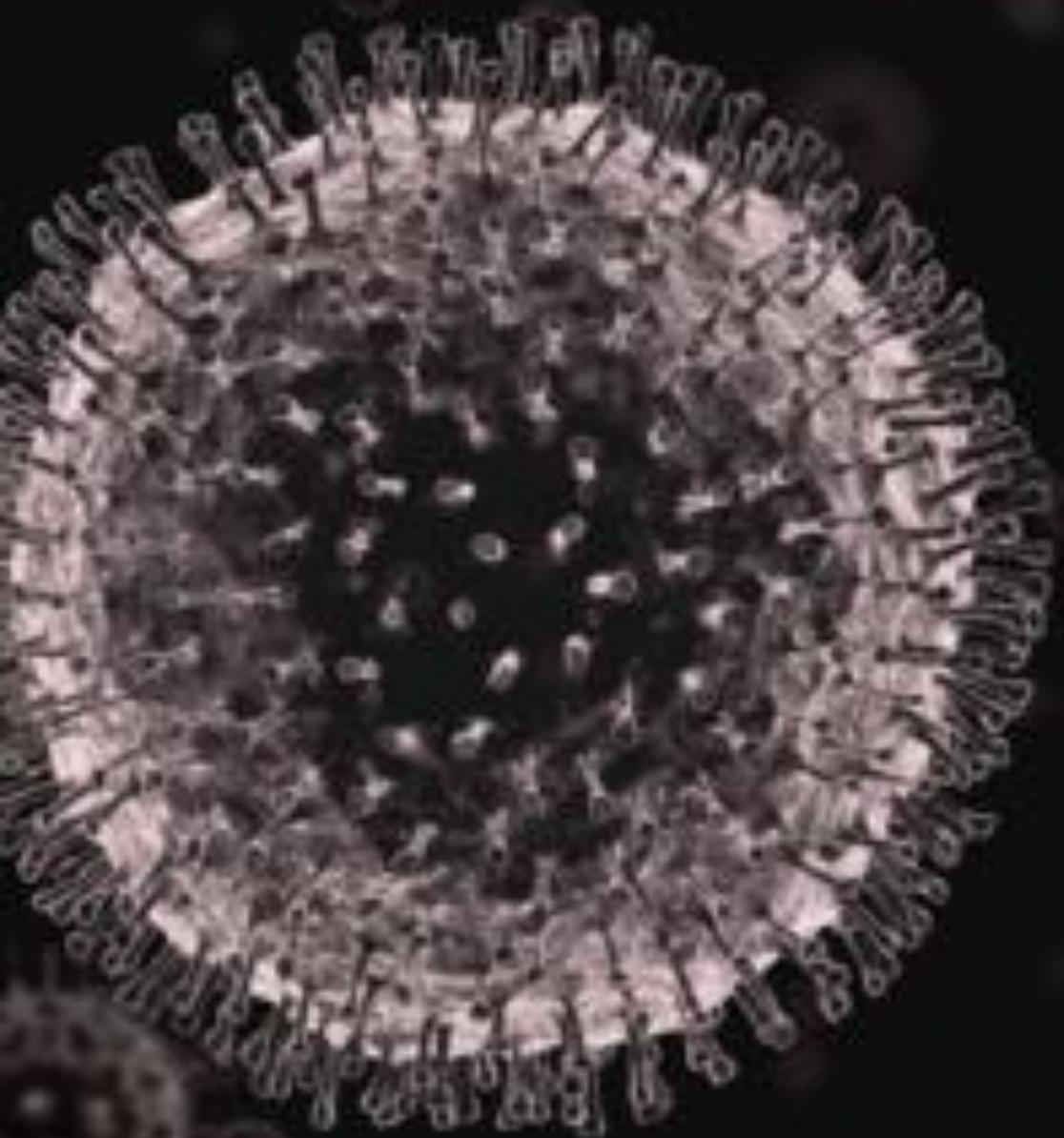


第四次

2016~

AI, IoT,

Bigdata



The Pandemic

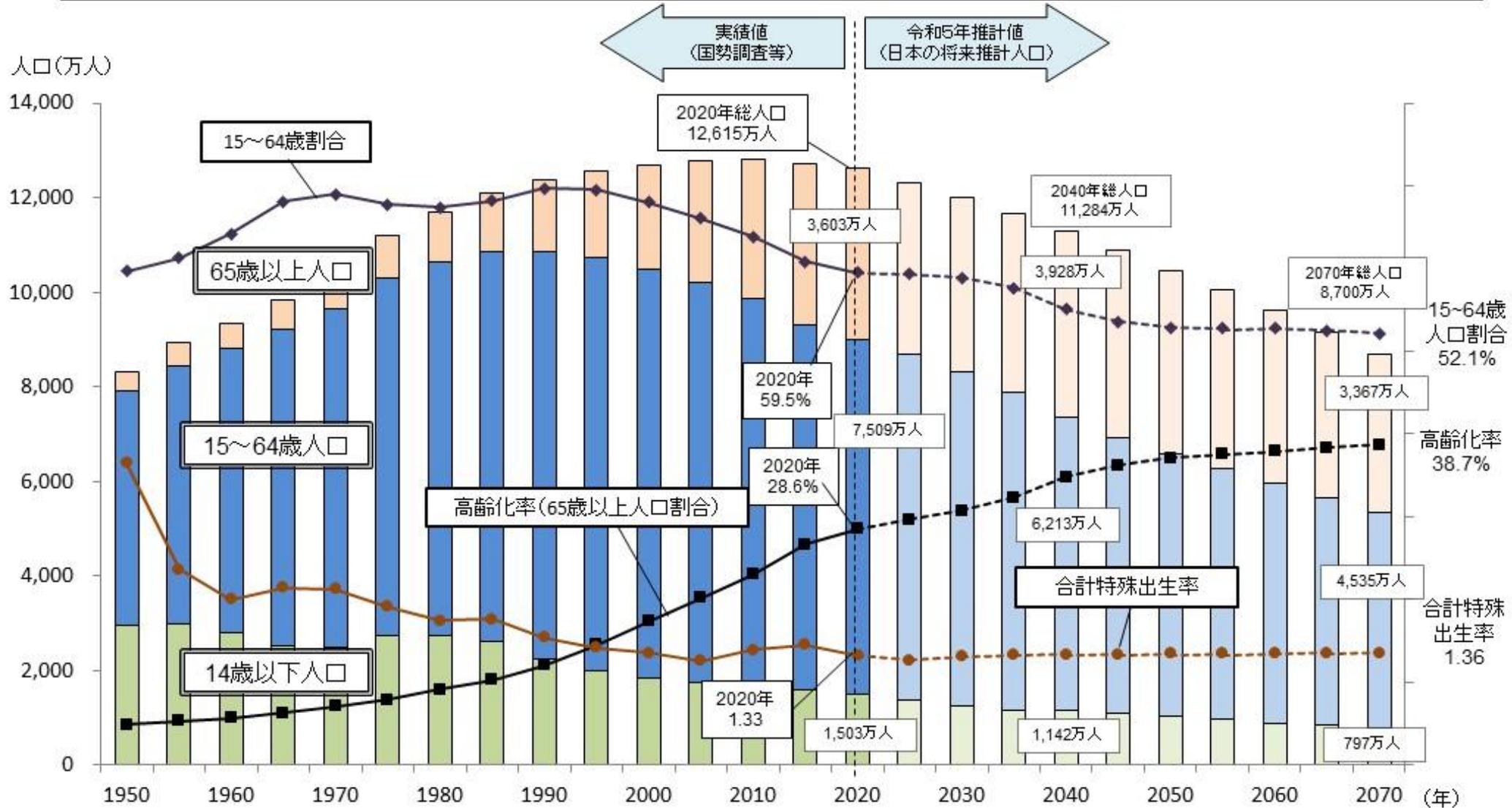
The novel coronavirus, cases of which were first reported in December 2019, has escalated into a pandemic affecting at least 200 countries and regions so far. The rapid outbreak has stoked fear and prejudice while inspiring love and empathy. Its socio-economic, political and psychological impact is reshaping the global landscape.





日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(出生中位(死亡中位)推計)

Q2

現在求められる

教育とは？

やりたい
ことを

主体
性

対話

探究

輝かせる

協働

ちがいを
生かして

多様
性

共感

KW②

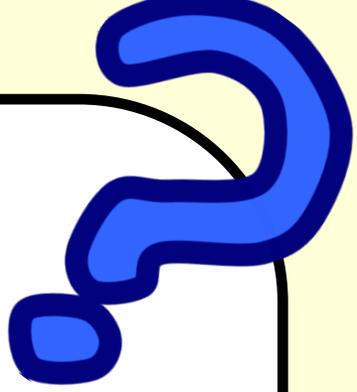
社会の現在

ウェルビーイング

Q3

みんなの幸せを

目標に掲げる自治体





長野県

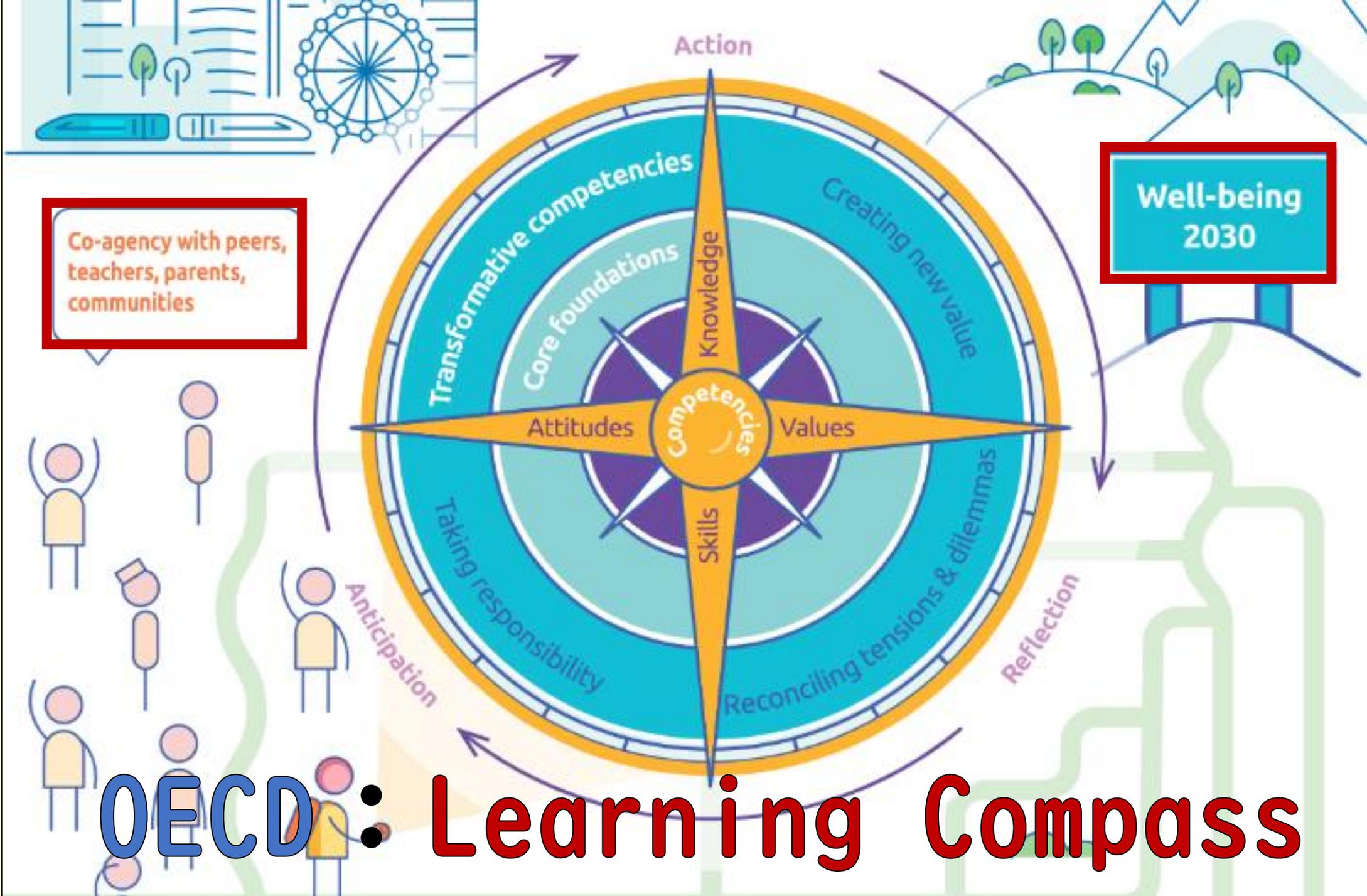
長野県 教育振興基本計画

・最上位目標

「未来をつくる、学びでつくる」
個人と社会の
ウェルビーイングの実現

子供たちのウェルビーイングが家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していく姿の実現が求められる。





Co-agency with peers, teachers, parents, communities

Well-being 2030

OECD: Learning Compass

Q4

みんなが幸せって

可能ですか？

KW③

心理学

自己決定理論



Richard Ryan

Edward Deci

SDT: Self Determination Theory*5

well-beingを支える社会・心理的ニーズ

- ① つながり : Relatedness
- ② 有用感 : Competency
- ③ 自律 : Autonomy

つながり : Relatedness

よりよくつながるには

- ① コミュニティ : 目 標
- ② やりたいこと : 活 動
- ③ 現在を超える : 越 境

Q5

私たち大人の

できること・すべきこと

責任って？

責任①

幸せになる

途を子どもに

つながり

有用感

自律

責任②

大人こそ

幸せになる

つながり

有用感

自律

責任③

大人こそ

つながる

コミュニティ

目標

活動

越境

本日の資料*6



<https://drive.google.com/file/d/1eHEqggCZEfg3L8X7qpKqneJFXqm0RJUk/view?usp=sharing>

- *1 佐藤学 (2021) 『第四次産業革命と教育の未来 ポストコロナ時代のICT教育』, 岩波ブックレットNo.1045, 岩波書店. に詳しい
- *2 長野県 (2023) 第4次長野県教育振興基本計画
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku02/gyose/zenpan/keikaku/keikaku-4.html>
- *3 文部科学省 (2023) 「新たな教育振興基本計画」
<https://mext-gov.note.jp/n/n696c552330ce>
- *4 OECD (2019) LEARNING COMPASS
<https://www.oecd.org/education/2030-project/>
- *5 Ryan, R. M., & Deci, E. L. (2000). Self-determination theory and the facilitation of intrinsic motivation, social development, and well-being. *American Psychologist*, 55(1), 68-78.
- *6 本講演資料は, 作成者 (長野大学: 早坂) を明示いただければ, どのようにご活用いただいても構いません

【その他】早坂が参画している (いた) 県内の会議や研究

1. コミュニティスクール検討会・座長 (長野県教育委員会生涯学習課)
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/cs2024.html>
2. 「一人ひとりに合った学び実践校 (仮称)」検討会議・委員 (長野県教育委員会教育政策課)
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku02/jissenko.html>
3. 早坂淳(2020)「長野県におけるコミュニティスクールに関する実態調査」 (WEB版報告書).
<https://sites.google.com/nagano.ac.jp/hayasaka-cs/>